

保存版

ツキノワグマとの
遭遇を防ぐために
備えましょう。

クマは 身近な 野生動物

あなたの周りにもいる可能性が!? 2
ツキノワグマってどんな動物? 4
ツキノワグマを人里に寄せ付けない 5

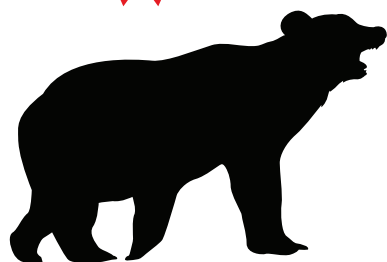
ツキノワグマと近くで出会わないために 6
ツキノワグマと出会ってしまったら 7
ツキノワグマの痕跡を知ろう 8



長野市

市内各地
で目撃

あなたの周りにもいる



赤い点(●)は令和7年度にクマの目撃があった場所です。
クマは長野市内山間部のほぼ全域で生息しています。
いつ、どこでクマに遭遇してもおかしくありません。
まれに市街地に出没することもあります。

令和7年度

長野市 ツキノワグマ 目撃マップ



可能性が!?

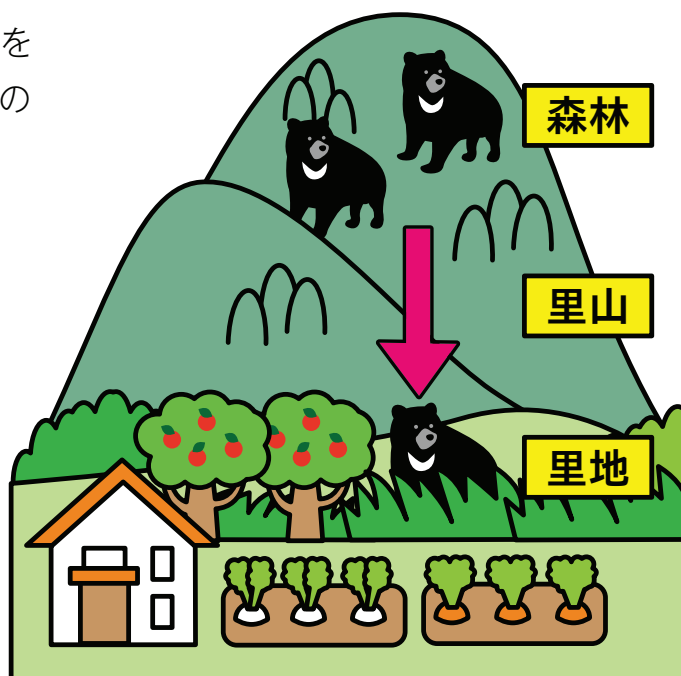
年度別クマ目撃件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
令和3年度	5	24	26	42	32	12	10	9	2	1	1	1	165
令和4年度	9	20	15	17	39	14	7	18	7	0	1	1	148
令和5年度	6	24	23	22	26	13	15	14	4	3	0	0	150
令和6年度	5	22	29	23	25	24	6	5	3	0	0	0	142
令和7年度	9	10	29	24	41	15	66	40	16	2	3	4	259

例年は5月から目撃件数が増え始め、7～8月に最大となります。

出没増加の要因

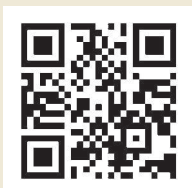
- 戦後のエネルギー革命により、里山の木々を燃料として使う人が減ったことから、里山の管理が難しくなったこと。
 - ▶管理が難しくなった里山には、木の実や昆虫が豊富で身を隠すやぶなどもあり、クマが定着しやすい条件が整った。
- 里地の人口減少や住民の高齢化によって、里地周辺の環境整備に手が回らなくなったこと。
 - ▶里地周辺にやぶや茂みが増えたため、クマが里地に近づきやすくなった。
 - ▶里地付近に定着するクマが増加し、農作物や生ゴミなどの味を覚える機会が増えた。



森林と里地の境界があいまいになってきた。

クマに関する情報

Yahoo! 防災速報



<https://emg.yahoo.co.jp/>

野生獣（クマなど）の 出没（長野市 HP）



<https://www.city.nagano.nagano.jp/n162000/contents/p001080.html>

ツキノワグマについて知って いただきたいこと（長野県 HP）



<https://www.pref.nagano.lg.jp/yasei/bear.html>



ツキノワグマって どんな動物？

前足



後足



歯 大きな犬歯を持つ。



©瀧井暁子



©瀧井暁子

食肉目クマ科

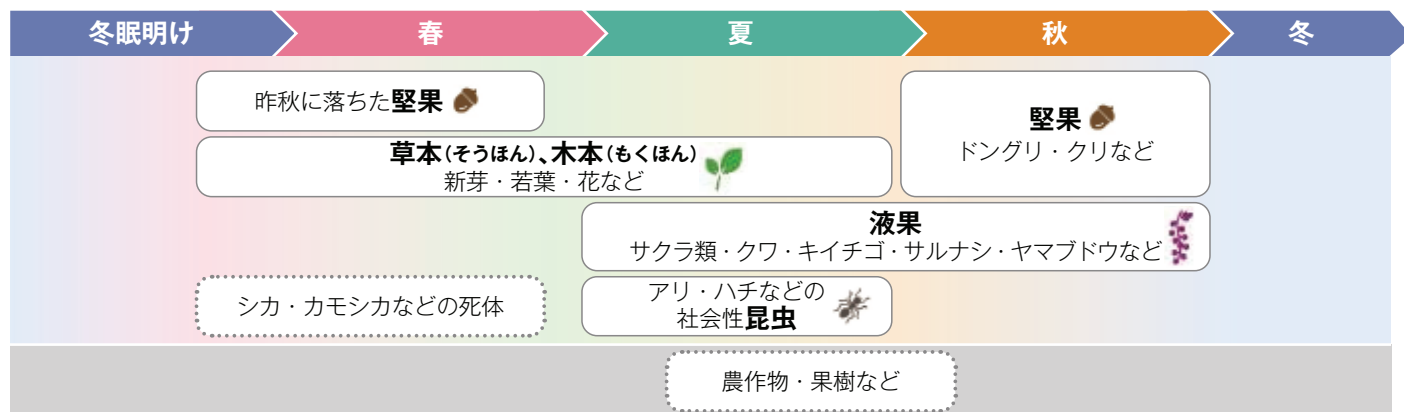
体長：120 ～ 150cm（成獣）

体重：オス 60 ～ 120kg / メス 40 ～ 60kg

特徴：時速 40km 程度で走ることができる。

人への警戒心が強い。聴覚に優れ嗅覚も犬以上に発達している。
学習能力、運動能力が高い。

食べ物



『信州版ツキノワグマハンドブック』（NPO法人ツキノワグマ研究会）をもとに作成

四季の暮らし

春

冬眠明けの母グマは子グマと行動します。
メスの方がオスより遅く冬眠明けします。

夏

繁殖期を迎えて交尾します。
子グマは1歳半頃にひとり立ちします。

秋

飽食期。冬眠に備えてドングリなどを
大量に食べます。

冬

冬眠（11月中旬～12月末に冬眠入り）。
2月初旬に子が生まれます（双子が多い）。

※昼行性。人里の近くでは、夜間に活動する場合があります。

※母グマだけで子育てをします。



©NPO法人ビックオ



ツキノワグマを 人里に寄せ付けない

農作物や生ゴミなどを食べたクマは、人を恐れなくなり、人にとって脅威。このような状況を招かないことが地域の安全を保つ上で重要です。

誘引しない!

誘引物の管理と除去

クマは農作物や生ゴミなどのニオイに引き寄せられます。これらを食べて人に慣れたクマは、人を恐れなくなりますので、生ゴミなどは絶対に屋外に放置しないことが重要です。また収穫する予定のないカキ、クワ、クリ、クルミなどの果樹は伐採しましょう。クマの誘引物を徹底的に排除し、無意識の餌付けを防止します。



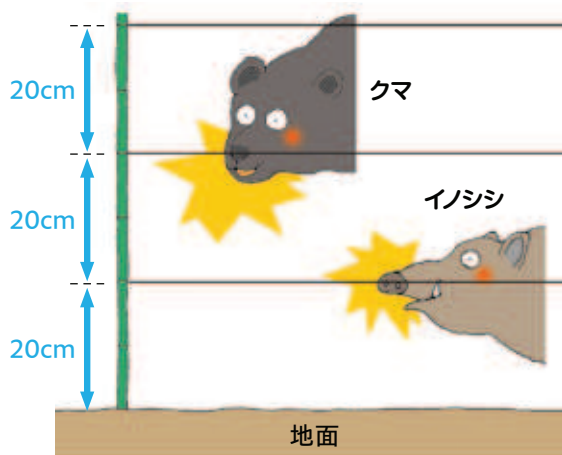
食べさせない!

電気柵で農作物をクマから守る

農作物の味を覚えたクマは、たびたび農地に現れて被害が甚大になります。農作物や養蜂箱を守るには電気柵が有効です。被害にあう前に正しく設置し、電圧を維持することで効果を発揮します。クマ用の電気柵は地面から20cm間隔で3～4段張りが基本となります。電圧を6000V以上に維持するため、漏電などがないか電圧チェッカーで確認します。

なお、イノシシの場合は20・40cmの電気柵2段張り、シカの場合は150cm以上の金網などの物理柵が有効です。

クマ用電気柵のイメージ
20・40・60cmの3段張り



隠れさせない!

やぶを刈り払って見通しを良くする

クマは人への警戒心が強く集落の近くにあるやぶは、クマが日中に隠れる格好の場所であり、人知れず移動する際の通路になることがあります。自宅周りや通学路など、日常的に利用する道路周辺のやぶを刈り払って見通しを良くしましょう。





ツキノワグマと近くで 出会わないために

里地、農地、森林では、ラジオやクマ鈴などで音を出し、人間の存在をクマに知らせることが重要です。クマは人への警戒心が強く、ばったり出会うと人を襲うことがあります。音を出していても不必要にやぶなどに入ることはやめましょう。



ラジオ クマ鈴

里地



音を出してクマに知らせる

集落の中で音を出していても、山沿いの道路や見通しの悪い道路などではできるだけやぶから離れて移動しましょう。

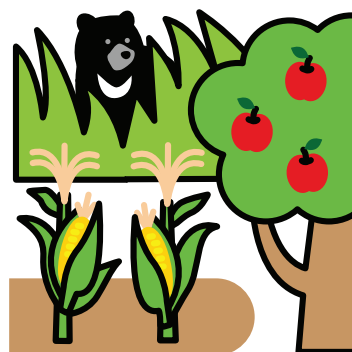
農地

複数人で作業する

一人で作業せず、複数人で作業するようにしましょう。

やぶに背を向けない

ラジオなどで音を出すとともに、近くの林ややぶに背を向けて作業しないようにしましょう。またビニールハウスに入り込んでいることもあるので注意しましょう。



森林

複数人で行動する

一人で山に入ることは避け、複数人で行動しましょう。音を出すこと、お互いが見える範囲で歩くことも重要です。



残った食料やゴミは持ち帰る

食料や生ゴミを山に放置することはやめましょう。人の食べ物の味をクマが覚えてしまうため必ず持ち帰りましょう。



音を出していても遭遇しやすい状況と時期

見通しの悪いやぶ、カーブ、薄暗い時間帯、沢沿い、悪天候時は、クマ鈴と声など複数の方法で音を出すことが有効です。ジョギングなどでやぶの近くを走るとクマと遭遇しやすいので、できるだけ避けましょう。

春や秋に山菜やきのこ採りで山に入るとクマと出会う確率が上がるので注意してください。





ツキノワグマと 出会ってしまったら

クマと出会ったときは、クマを刺激しないよう静かにして落ち着くことが重要です。
万が一、クマに襲われたときに備え対策を覚えておきましょう。

クマが遠くにいるとき

遠くのクマが突然襲ってくることはありません。静かにクマの様子を観察しながら、その場からゆっくり立ち去りましょう。

子グマを見かけた場合は、近くに親グマがいる可能性があるため、絶対に近寄ってはいけません。

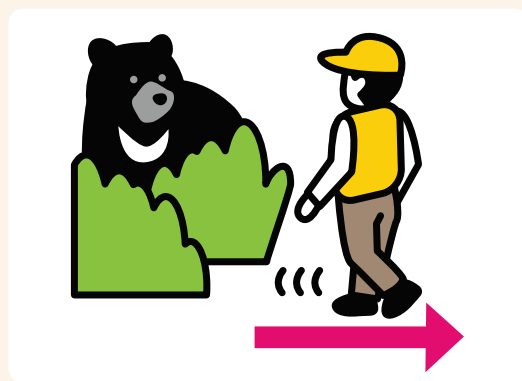


絶対ダメ

背を向けて走って逃げない。
物を投げない。

クマが近くにいるとき

クマを刺激しないように、ゆっくりとクマの方を向いたまま、安全なところ(50m以上)まで後ずさってください。



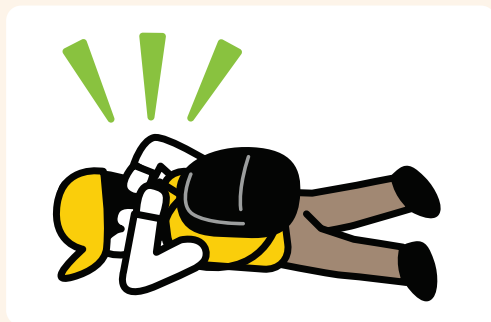
絶対ダメ

大声を出さない。
物を投げない。

クマに襲われたとき

防御姿勢をとります

クマは頭部を攻撃する傾向があるため首の後ろで手を組み、素早くうつ伏せになります。顔面、首、腹部などの急所を守ってください。



クマ撃退スプレーを持っていれば

クマの顔をめがけて噴射します。使用前に使用方法と危険性について確認しておく必要があります。



クマ撃退スプレーを購入する際は噴射距離が7.5m以上、6秒以上噴射ができるものを選びましょう。その他のポイントは、環境省ホームページをご覧ください。





ツキノワグマの痕跡を知ろう

足跡

成獣だと大人の
手と同じくらいの大きさで
す。前足と後足で形が異な
ります(p4参照)。5本の指
跡が残ることもあります。



クマの足跡 [後足]

© 瀧井暁子

爪痕

木の幹に、鋭い
爪で引っ掻いたような5本
の線が残ります。



© 瀧井暁子

ふん

太く、未消化物が多いことが特徴です。クマの
体重により、ふんの大きさは異なります。



リンゴを食べた後のふん。
未消化のリンゴが見える。



木の実を食べた後のふん。 © 瀧井暁子
木の実の種が含まれている。

樹皮剥ぎ

クマが木
の樹皮を剥いだ跡です。
近くで見ると前歯でか
じった跡が見られます。



クマ棚

クマが木に登って
実(クリやカキなど)を食べる
ときに、枝を手繰り寄せ、折っ
た枝を自分の下に敷いて座る
ため、鳥の巣のように丸く枝が
折れ重なった痕跡が残ります。



© 瀧井暁子

保存版 クマは身近な野生動物

制作：(一社)農山漁村文化協会

〒335-0022

埼玉県戸田市上戸田 2-2-2

[電話] 048-233-9374 (制作局)

監 修：瀧井暁子・浜口あかり・中下留美子・橋本操・岸元良輔
(NPO法人信州ツキノワグマ研究会)

参考文献：『信州版ツキノワグマハンドブック』(NPO法人ツキノワグマ研究会刊)
農林水産省ホームページ鳥獣被害対策コーナー

写真提供：瀧井暁子／NPO 法人ビックオ

お問い合わせ先

 **長野市 農林部 森林いのしか対策課**

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町 1613 番地 第二庁舎 8 階 [電話] 026-224-8470